



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	11-6418-5	版	1.00
発行日	2024/08/25	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> Scotch-Weld<sup>TM</sup> Urethane Adhesive EC-3532 B/A

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

本製品は個々に包装された複数の構成部品からなるキット製品である。SDSには個々の構成部品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

11-6417-7, 11-6419-3

### 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。





## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	11-6419-3	版	1.00
発行日	2024/08/25	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Scotch-Weld<sup>™</sup> Urethane Adhesive EC-3532 B/A Part A

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

2液ウレタン接着剤用硬化促進剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

呼吸器感作性： 区分1

皮膚感作性： 区分1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分3

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分1

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H315	皮膚刺激
H334	吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 呼吸器

注意書き

安全対策

P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P284A	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

**その他の有害性**

過去にイソシアネートの感作を受けた人は、他のイソシアネートに対して交差感作反応を発現することがある。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ウレタンプレポリマー	営業秘密	30 - 60
タルク	14807-96-6	10 - 30
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	9016-87-9	28
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	9.7
シリカ	7631-86-9	< 5.0

**4. 応急措置****応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

**皮膚に付着した場合**

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

**眼に入った場合**

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

**飲み込んだ場合**

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

**予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嘔声、鼻や喉の痛み）。アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

**応急措置を要する者の保護に必要な注意事項**

適用しない。

**5. 火災時の措置****消火剤**

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

**使ってはならない消火剤**

情報なし。

#### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

#### 有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
シアン化水素	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

#### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

#### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。流出物へ、イソシアネート浄化溶液（水90%、濃縮アンモニア8%、2%洗浄剤）を注ぎ、10分間反応させる。あるいは、流出（物）へ、水を注ぎ、30分以上反応させる。吸収性のある物質で覆う。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。関係当局が許可した輸送用容器に入れる。圧力上昇を避けるために、48時間以上は密閉しない。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

#### 保管

換気の良い場所で保管すること。水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不活性あるいは有害なダスト	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA(吸入性分画):2mg/m <sup>3</sup>	A4:ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	限界値は未設定	1:ヒトに対して発がん性がある。
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(推奨)(8時間):4mg/m <sup>3</sup>	
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

間接式換気ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質: ブチルゴム

ネオプレン

## ニトリルゴム

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 プチルゴム製エプロン  
ネオプレン製エプロン  
ニトリル製エプロン

## 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	茶色
臭い	わずかなウレタン臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=186 °C
引火点	>=186.1 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	1.34 g/ml
比重	1.34 [参照基準: 水=1]
溶解度	微量 (<10%)
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	17,537 mm <sup>2</sup> /sec
揮発性有機化合物	適用しない
揮発分	0 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	適用しない

モル重量

データはない。

**ナノパーティクル**

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性

適用しない

**10. 安定性及び反応性****反応性**

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

**化学的安定性**

安定。

**危険有害反応の可能性**

有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンを焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

**混触危険物質**

アミン類

アルコール類

水

強酸

強塩基

強酸化性物質

**危険有害な分解物****物質****条件**

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

**11. 有害性情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性学的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 アレルギー性呼吸器反応： 呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**皮膚に付着した場合**

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

**眼に入った場合**

眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

**飲み込んだ場合**

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

**その他健康影響情報****長時間又は反復暴露した場合：**

吸入作用： 症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。 頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

**追加情報**

過去にイソシアネートの感作を受けた人は、他のイソシアネートに対して交差感作反応を発現することがある。

**毒性データ**

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

**急性毒性**

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.368 mg/l
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	経口摂取	ラット	LD50 31,600 mg/kg
ジフェニルメタンイソシアネート (MD I)	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ジフェニルメタンイソシアネート (MD I)	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.368 mg/l
ジフェニルメタンイソシアネート (MD I)	経口摂取	ラット	LD50 31,600 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ウサギ	刺激性なし
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	公的な分類	刺激物
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	公的な分類	刺激物
シリカ	ウサギ	刺激性なし

## 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ウサギ	刺激性なし
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	公的な分類	激しい刺激
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	公的な分類	激しい刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	マウス	感作性あり
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	マウス	感作性あり
シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。

## 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	ヒト	感作性あり
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	ヒト	感作性あり

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
シリカ	In vitro	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
-----	-----------	-----	--------------------

## 生殖毒性

### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	器官発生期
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	器官発生期
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m <sup>3</sup>	113週
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.004 mg/l	13週
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.004 mg/l	13週
シリカ	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

## 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分

の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

#### 生態毒性

##### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

##### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ウレタンプレポリマー	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
シリカ	7631-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>1,640 mg/l
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	ミジンコ	推定値	24 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1,640 mg/l
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	>=10 mg/l

I)						
ポリメチレン ポリフェニレン イソシア ネート	9016-87-9	緑藻類	類似コンパ ウンド	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ポリメチレン ポリフェニレン イソシア ネート	9016-87-9	ミジンコ	類似コンパ ウンド	24 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ポリメチレン ポリフェニレン イソシア ネート	9016-87-9	緑藻類	類似コンパ ウンド	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ポリメチレン ポリフェニレン イソシア ネート	9016-87-9	液状化	類似コンパ ウンド	3 時間	EC50	>100 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ウレタンプレ ポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シリカ	7631-86-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジフェニルメ タンイソシア ネート (MD I)	26447-40-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリメチレン ポリフェニレン イソシア ネート	9016-87-9	類似コンパ ウンド 水生固 有生分解性	28 日	生物学的酸素 要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 302C MITI変法 (II)
ポリメチレン ポリフェニレン イソシア ネート	9016-87-9	類似コンパ ウンド 加水分 解		加水分解性半 減期	20 時間 (t 1/2)	

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ウレタンプレ ポリマー	営業秘密	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
タルク	14807-96-6	分類にデー タが利用でき	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		ない、あるいは不足している。				
シリカ	7631-86-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	26447-40-5	推定値 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	200	
ポリメチレンポリフェニレンイソシアネート	9016-87-9	類似コンパウンド BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	200	OECD305-生体濃縮度試験
ポリメチレンポリフェニレンイソシアネート	9016-87-9	類似コンパウンド 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.51	

**土壌中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意****国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

消防法：第四類第三石油類

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

化管法：第 1 種指定化学物質

本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカに該当しない。

#### 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	メチレンビス (4,1-フェニレン) = ジイソシアネート (別名 MDI)	該当	該当	該当

#### 化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
ジフェニルメタンイソシアネート (MDI)	メチレンビス (4,1-フェニレン) = ジイソシアネート	448	第1種指定化学物質
ポリメチレンポリフェニレン イソシアネート	$\alpha$ -(イソシアナトベンジル)-オメガ-(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]	585	第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

#### 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本 SDS の記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3M ジャパングループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	11-6417-7	版	1.00
発行日	2024/08/25	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Scotch-Weld<sup>™</sup> Urethane Adhesive EC-3532 B/A Part B

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

2液ウレタン接着剤の主剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

水生環境有害性 短期(急性) : 区分3

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

適用しない。

##### シンボル

適用しない。

##### ピクトグラム

適用しない。

## 危険有害性情報

H412 長期継続的影響により水生生物に有害

## 注意書き

## 安全対策

P273 環境への放出を避けること。

## 廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ポリエステル樹脂	営業秘密	30 - 60
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	10 - 30
タルク	14807-96-6	10 - 30
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	< 10
〇-ジエチルビスアニリン	13680-35-8	< 3.0
シリカ	7631-86-9	< 3.0
ゼオライト	1318-02-1	2.0
2-エチルヘキサン酸	149-57-5	0.20
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	0.20

## 4. 応急措置

## 応急措置

## 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

## 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

## 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

## 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

## 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

## 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素

#### 条件

燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。指定された個人保護具を使用する。

## 保管

酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 管理項目

## 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
スズ、有機化合物	10584-98-2	ACGIH	TWA (スズとして) : :0.1 mg/m <sup>3</sup> 、STEL (スズとして) : 0.2 mg/m <sup>3</sup>	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性
不溶性アルミニウム、化合物	1318-02-1	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m <sup>3</sup>	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不活性あるいは有害なダスト	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m <sup>3</sup> ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m <sup>3</sup>	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 2 mg/m <sup>3</sup>	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	限界値は未設定	1：ヒトに対して発がん性がある。
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA (推奨) (8時間) : 4 mg/m <sup>3</sup>	
2-エチルヘキサン酸	149-57-5	ACGIH	TWA (吸入性分画および蒸気) : 5mg・m <sup>3</sup>	
2-エチルヘキサン酸	149-57-5	ISHL (濃度基準値)	TWA (8時間) : 5 mg/m <sup>3</sup>	25°C 1気圧空气中
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	AIHA	TWA (エアロゾルとして) : 10 mg/m <sup>3</sup>	
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m <sup>3</sup> ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m <sup>3</sup>	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	7631-86-9	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m <sup>3</sup> ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。  
サイドシールド付安全メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。  
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：  
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	オフホワイト。
臭い	ほどほどのポリエステル臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=179 °C
引火点	>=178.9 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない

燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	1.31 g/ml
比重	1.31 [参照基準:水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	19,084 mm <sup>2</sup> /sec
揮発性有機化合物	11.4 g/l
揮発分	0.9 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	11.4 g/l
モル重量	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

#### 混触危険物質

強酸化性物質

#### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

## 毒性学的影響に関する情報

### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

### 皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

### 飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

## その他健康影響情報

### 生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
ポリエステル樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 15,000 mg/kg
ポリプロピレングリコール	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
ポリプロピレングリコール	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリオキシプロピレントリオール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ポリオキシプロピレントリオール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,500 mg/kg
ゼオライト	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ゼオライト	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 4.57 mg/l

ゼオライト	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
〇-ジェチルビスアニリン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
〇-ジェチルビスアニリン	経口摂取	ラット	LD50 1,736 mg/kg
2-エチルヘキサン酸	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
2-エチルヘキサン酸	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 3.54 mg/l
2-エチルヘキサン酸	経口摂取	ラット	LD50 2,043 mg/kg
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	皮膚	ラット	LD50 777 mg/kg
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.94 mg/l
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	経口摂取	ラット	LD50 396 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリプロピレングリコール	入手できない	刺激性なし
タルク	ウサギ	刺激性なし
ポリオキシプロピレントリオール	ウサギ	刺激性なし
ゼオライト	ウサギ	刺激性なし
シリカ	ウサギ	刺激性なし
〇-ジェチルビスアニリン	ウサギ	刺激性なし
2-エチルヘキサン酸	ウサギ	軽度の刺激
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	ラット	刺激物

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリプロピレングリコール	入手できない	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
ポリオキシプロピレントリオール	ウサギ	軽度の刺激
ゼオライト	ウサギ	軽度の刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし
〇-ジェチルビスアニリン	In vitro data	刺激性なし
2-エチルヘキサン酸	ウサギ	軽度の刺激
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	ウサギ	激しい刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリプロピレングリコール	ヒト及び動物	区分に該当しない。

シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
〇-ジエチルビスアニリン	マウス	区分に該当しない。
2-エチルヘキサン酸	モルモット	区分に該当しない。
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	モルモット	感作性あり

## 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ポリプロピレングリコール	In vitro	変異原性なし
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
シリカ	In vitro	変異原性なし
〇-ジエチルビスアニリン	In vitro	変異原性なし
2-エチルヘキサン酸	In vitro	変異原性なし
2-エチルヘキサン酸	In vivo	変異原性なし
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	In vivo	変異原性

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
〇-ジエチルビスアニリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/日	妊娠期間中
2-エチルヘキサン酸	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 800 mg/kg/日	2世代
2-エチルヘキサン酸	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 800 mg/kg/日	2世代
2-エチルヘキサン酸	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	妊娠期間中
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	授乳期早期交配

ジブチルスズビス（2-エチルヘキシルメルカプトアセテート）	経口摂取	発生機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	妊娠期間中
-------------------------------	------	---------	-------	--------------	-------

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-エチルヘキサン酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
ジブチルスズビス（2-エチルヘキシルメルカプトアセテート）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
ジブチルスズビス（2-エチルヘキシルメルカプトアセテート）	経口摂取	免疫システム	臓器への影響	類似化合物	NOAEL 入手できない	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m <sup>3</sup>	113 週
シリカ	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
〇-ジェチルビスアニリン	経口摂取	肝臓   心臓   内分泌系   造血系   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/day	90 日
2-エチルヘキサン酸	経口摂取	造血系   肝臓   腎臓および膀胱   心臓   内分泌系   消化管   骨、歯、爪及び/又は毛髪   免疫システム   筋肉   神経系   眼   呼吸器系   脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 917 mg/kg/day	13 週
ジブチルスズビス（2-エチルヘキシルメルカプトアセテート）	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	類似化合物	NOAEL 入手できない	28 日
ジブチルスズビス（2-エチルヘキシルメルカプトアセテート）	経口摂取	肝臓	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	類似化合物	NOAEL 入手できない	2 週

## 誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリエステル樹脂	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	>100 mg/l
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	105.8 mg/l
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>100 mg/l
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	100 mg/l
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	>=10 mg/l
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	液状化	実験	3 時間	EC10	>10,000 mg/l
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

ロピレントリオール		シュ				
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	8.5 mg/l
オージエチルビスアニリン	13680-35-8	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	EC50	>100 mg/l
オージエチルビスアニリン	13680-35-8	液状化	実験	3 時間	NOEC	1,000 mg/l
オージエチルビスアニリン	13680-35-8	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
オージエチルビスアニリン	13680-35-8	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	1.32 mg/l
オージエチルビスアニリン	13680-35-8	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.19 mg/l
シリカ	7631-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	液状化	実験	30 分	EC20	650 mg/l
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	バクテリア	実験	17 時間	EC50	112.1 mg/l
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	44.4 mg/l
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	85.4 mg/l
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	27.9 mg/l
2-エチルヘキサ酸	149-57-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	液状化	実験	3 時間	EC50	>100 mg/l
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシル	10584-98-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.56 mg/l

メルカプトアセテート)						
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.035 mg/l
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.19 mg/l
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.098 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	アフリカツメガエル	類似コンパウンド	96 時間	LC50	1,800 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ファットヘッドミノウ (魚)	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>680 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EC50	130 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	底生生物	類似コンパウンド	22 日	EC50	364.9 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	>100 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ファットヘッドミノウ (魚)	類似コンパウンド	30 日	NOEC	86.7 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	18 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	32 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	バクテリア	実験	16 時間	EC50	950 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ラディッシュ	実験	23 日	EC50	4,000 mg/kg (乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエステル樹脂	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93.6 %BOD/ThOD	OECD 301F
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオキシブ	25723-16-4	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	84 %BOD/ThOD	

ロピレントリオール		性		要求量		
〇ージエチルビスアニリン	13680-35-8	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	4.18 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
シリカ	7631-86-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-エチルヘキサノ酸	149-57-5	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	99 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング試験
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	22-48 %BOD/ThOD	
ジブチルスズビス (2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	10-12 時間 (t 1/2)	
ゼオライト	1318-02-1	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期	60 日 (t 1/2)	

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエステル樹脂	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリプロピレングリコール	25322-69-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤1.13	EC A.8 Partition Coefficient
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリオキシプロピレントリオール	25723-16-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.8	
〇ージエチルビスアニリン	13680-35-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	2300	Catalogic™
〇ージエチルビスアニリン	13680-35-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.4	EC A.8 Partition Coefficient
シリカ	7631-86-9	分類にデータが利用でき	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		ない、あるいは不足している。				
2-エチルヘキサノ酸	149-57-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.7	OECD 107類似法
ジブチルスズビス(2-エチルヘキシルメルカプトアセテート)	10584-98-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ゼオライト	1318-02-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

**土壌中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意****国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制 (主な適用法令)**

労働安全衛生法: 危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の3)

消防法: 第四類第三石油類

労働安全衛生法: 施行令 18 条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法: 施行令 18 条有害物質 (表示物質)

本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカに該当しない。

**主な法規制物質**

労働安全衛生法: 通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
2-エチルヘキサン酸	2-エチルヘキサン酸	該当	該当	該当
ジブチルスズビス（2-エチルヘキシルメルカプトアセテート）	すず及びその化合物	該当	該当	該当
ゼオライト	ゼオライト	適用しない	該当	該当

## 16. その他の情報

### 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。